




2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

写真提供：池之上 尚会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2947 例会 R. Song 「奉仕の理想」 天候：晴れ No.2947/2023. 12. 8

Guest 平松 恵美子 様 (映画監督) Visitor なし

出席 会員数 59 名 (うち出席規定免除者 16 名②名③14 名)

12/8 の出席率 71. 43% (出席者 35 名、内③6 名)

欠席 安藤、浜崎、流田、中川、中西、沼本、齋藤、寫田(晴)、滝川、渡辺(英)、
山本(英)、柳沢、横田、吉住、各会員 (14 名)

●土井会長

- ・横道会員にマルチプル・ポールハリス・フェロー3 回目の認証品が届いております。
- ・寒暖の差が大きい今日この頃です。インフルエンザに罹っている方も多いと聞いていますので体調管理を宜しくお願い致します。
- ・今日は「ニイタカヤマノボレ」開戦日です。無謀と言われるが必然であったかもしれない戦争の始まりでした。9. 11 の時は、学会出張でアメリカのミシガン湖上空を飛行中でした。携帯電話などなかった時代ですので、何が起こったのか分からない状況で取り敢えず着陸せよとの事でデトロイトに着いたわけです。ガザ地区やウクライナの話の聞くと辛い毎日だと感じます。本当に目をそむけたくなるような事も多々あると感じます。この間、スティーブ・ピンカーの暴力の人類史という 1300 ページある本を読んでも、人類の有史以来、人類は非常に暴力的であったのが、詳細に分析した人類集団の統計的傾向で暴力的な人間が減少しているということは、人類の力の集積であり一条の光を感じるころです。では何ができるのか、何もできないこともあるが、目の前の患者さん、皆さんにとっては顧客になろうかと思いますが、彼らに最高の品質のサービスを提供し続け、日々実践することが、最終的に世界平和につながるのではないかと思う次第です。

●幹事報告 (山本(由)幹事) : 2023 年 12 月の R レートは 147 円/\$、他来信 11 件

●親睦・家族委員会 (栗元副委員長) 12 月のお誕生日 : 中川、森、流田、三宅(繁)、石本、各会員7名です。 ▶三宅(繁)委員長 : 12/19 クリスマス例会のビンゴゲーム

用の景品をお持ちよりください。

●雑誌記録委員会(横道会員):Rの友12月号の記事紹介:①疾病予防と治療月間で認知症に関する記事でロータリアンは比較的認知症になりにくいという現象がある。②バギオ基金は、フィリピンにおける日系及一般青少年のための育成資金を提供する基金③友は皆様方からの寄稿から成り立っています。「うちの子」特別版参照。

●スマイル報告(小田 S. A. A) ※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。

- ・土井会長、浅見副会長、山本幹事、小田 S. A. A: ①平松恵美子様の卓話を楽しみにしています。倉敷を舞台とした映画の制作について教えて頂きたいです。②倉敷東 RC 渡邊様ご来訪を歓迎して。当 RC にお知り合いが多いと聞きご縁を感じます。
- ・石田会員:「蔵のある街」本編の完成を平松監督のお話を楽しみにしています。
- ・亀岡会員:平松恵美子監督の卓話を楽しみにしています。
- ・井上職場奉仕委員長:メタルワン菱和様で行われた職場例会。流田社長とスタッフの皆様ありがとうございました。大変刺激的で有益な経験となりました。
- ・大段会員:メタルワン菱和さんへお邪魔できる機会を逃したのは大変残念です。初めてとなるクリスマス例会は楽しみにしています。
- ・池之上会員:妻の誕生日に素敵なバラをお送りいただき有難うございました。
- ・小林会員:先月、嫁さんの父親が亡くなりました。嫁さんがもう少し親孝行しておけばよかったと、そっと私に話したことを今も考えつつ日々を過ごしています。

●プログラム卓話:「倉敷から発進する映画「蔵のある街」平松恵美子監督

- ・山田洋次監督と仕事をする中で、平和であるとか希望をもった世の中であるとか、特に若い人たちに希望をもって欲しいと、ずっと一貫して思い続けていており、私が脚本を書き、監督する作品の中にはそう言ったことをずっと重視して作品を作っています。つなぐ映画「蔵のある街」についても希望、平和であることの喜びなどを盛り込んでいきたいと考えています。倉敷の町は美観地区にも原風景が残っています。この度の作品は、その美しい街倉敷を舞台として、高校生が自分のためだけでなく、ヤングケアラーの女の子のために応援歌として花火をあげる。そのような物語です。「夢と希望を諦めるな」、誰かを応援するとか、助けることはとても美しいことです。暗いニュースばかりのご時世に「夢を見ろ」って難しいことだと思います。でも「夢を見ていいんだよ」というメッセージは送れると私は思っています。子供たちに夢を見たり希望をもっていい。それを語ってその思いが本気ならば、それを評価してあげる、応援してあげる。そんな大人たちが居るんだよ。と言ってあげたいです。肝心なことを言いますと、まだ資金が足りません。本編を作りたいと思っていますのでご協力をお願い致します。

例会プログラム予定:

2023年12月15日(金)卓話 イニシエーションスピーチ 草野健一会員

2023年12月19日(火)18:30~ クリスマス家族例会 於 倉敷アイビースクエア